

再評価

番号	事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性	事業の投資効率性 上段:前回評価時 下段:現時点		流域委員会等の審議結果
1	天竜川ダム再編事業	右岸:愛知県北設楽郡豊根村 左岸:静岡県浜松市天竜区佐久間町	平成16年度 ～令和20年度	約790億円 約1,900億円	・天竜川沿川市町村の人口に近年大きな変化はなく、下流氾濫域(浜松市、磐田市)では、市街地が形成され人口が集中している。 ・天竜川下流流域内は、東名高速道路、国道1号、JR東海道新幹線等、東西を結ぶ、国土の基幹をなす交通の要衝。 ・平成24年4月から新東名高速道路が開通し、さらに令和9年度には全線開通予定など、新たな交通網の整備が進んでいる。 ・浜松市並びにその周辺地域を含む浜松地域は、自動車産業、オートバイ産業、楽器産業が盛んであり、日本有数の「ものづくりのまち」として発展しており、日本経済を支える重要な地域となっている。	・平成16年4月 実施計画調査に着手 ・平成21年4月 建設事業に着手 ・平成21年7月 天竜川水系河川整備計画策定 ・令和2年6月 天竜川水系流域委員会にて事業計画(恒久的堆砂対策:ベルトコンベヤ等を用いた置土、流入部土砂対策)を確認し、工期を変更 ・令和6年7月 気候変動を踏まえて天竜川水系河川整備計画変更 ・令和7年7月 天竜川水系流域委員会にて事業計画(放流設備の増設:トンネル洪水吐き)を確認し、事業費・工期を変更 ・水文・水質調査、河川への土砂還元モニタリング、工事用道路工事及び関連する補償のほか、施設設計に必要な地質調査等の基礎データ収集、治水関連施設設計、堆砂対策施設設計を実施している。	・令和19年度までに増設放流設備及び恒久的な堆砂対策施設等の整備を完成し、試験運用等を経て令和20年度に事業完了の予定。	＜コスト削減＞ ・工事が集中するダムサイト周辺の施設整備に対して、CIM活用によるコスト削減について検討を実施する。 ・堆砂対策施設の整備において、新技術適用によるコスト削減策について検討を実施する。 ・引き続き、新技術の積極的な活用や建設分野のDXの導入の検討を進めコスト削減に努める。 ＜代替案立案等の可能性＞ ・気候変動を考慮した天竜川水系河川整備計画(令和6年7月変更)において洪水を安全に流下させることができる対策案が検討され、「天竜川ダム再編事業」が位置づけされている。 ・また、現時点において、天竜川水系河川整備計画において実施した「天竜川ダム再編事業案」と想定される代替案について確認をしたところ、「天竜川ダム再編事業案」が優位であることを確認した。	【事業全体】 総便益B:2,656億円 総費用C:893億円 B／C＝3.0 【事業全体】 総便益B:3,798億円 総費用C:1,565億円 B／C＝2.4	【残事業】 総便益B:2,656億円 総費用C:701億円 B／C＝3.8 【残事業】 総便益B:3,798億円 総費用C:1,280億円 B／C＝3.0	継続